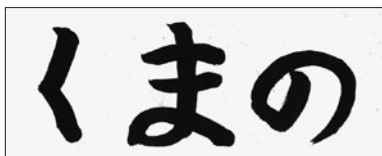


今月の題字



熊野第三小学校
5年 石川 初雪さん



(学年は3月時点)

ギャラリー



熊野第三小学校
3年 富永 隆航さん

【評】3年生で学習した点や画の書き方に気をつけながら書かれています。右はらいが伸びやかで、力強い作品になっています。一筆一筆丁寧に書いたことが伝わる作品です。



熊野第三小学校
1年 有田 紗菜さん

【評】くじらぐもと遊ぶ子どもたちの様子や表情をクレパスで表現しています。また、絵の具の濃淡を効果的に生かして丁寧に深みのある絵に仕上げられています。

(学年は3月時点)

熊野町 食ベ物歳時記

4月はお花見の季節ですね。今回は、春の節句で弁当に添えられていた“ニッケの水ようかん”を作ってみましょう。

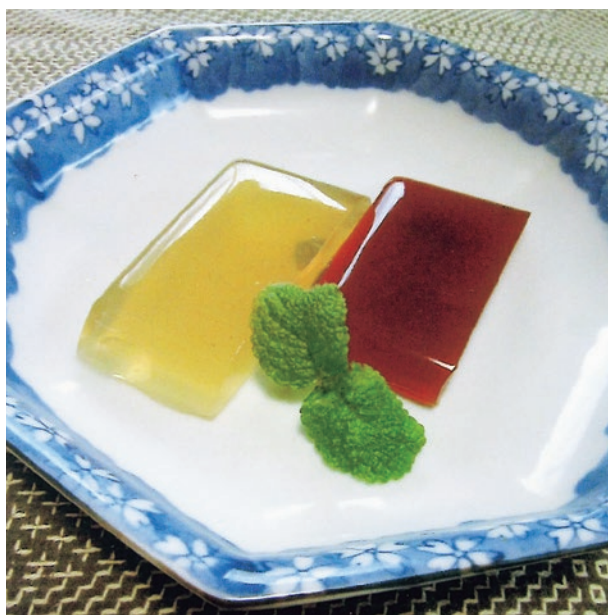
<材 料>

- ・水……………300ml
- ・粉寒天……………2g(小さじ1)
- ・ニッケキャンディー…5～6粒

<作 り 方>

1. 鍋に水と粉寒天を入れて、かき混ぜながら中火で加熱する。
2. 沸騰したら、火を弱めて、ニッケキャンディーを加え、木べらでかき混ぜながら煮溶かす。
3. 溶けきったら、火からおろし、粗熱が取れたら容器に移し、冷蔵庫で冷やし固める。

★水ではなく、紅茶で作るとシナモンティー味の写真右のような色になります。ぜひお試しください!



今では「お花見」として、世代問わずたくさんの人に親しまれている「春の節句」は、昭和の時代には、正月や秋祭りと同じくらい子どもたちにとって楽しみな行事の1つでした。

節句には、友だちと子どもたちだけで里山に入り、1日を過ごしました。お昼に食べる重箱弁当には、巻き寿司やいなり寿司、玉子焼き、かまぼこなど、子どもたちの好きなものが入っていました。その中に、赤や緑の色鮮やかなニッケの水ようかんや、普段口にする事のない生菓子も入っていました。

そのため、“春の節句”は、当時の子どもたちにとっては、甘くて楽しい時間だったのです。

【文・写真】桐木みね子

(政策企画課)

防災無線放送
再生サイン
082-820-5640
(放送終了後24時間で自動消去)



子育て支援情報
アカラント
こふでりんLINE



熊野町
公式SNS
アカラント



LINE
Instagram
YouTube



切り取って、電話機などに貼ってお使いください。



「広報くまの」は認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。



分かりやすく、読みやすく、間違えにくいユニバーサルデザイン書体を使用しています。